

いにしへ

古の美術品

H29.1.23(日)
南日本

剥片尖頭器
(はくへんせんとうき)

旧石器時代
(約2万4000年前)

鹿児島市・仁田尾遺跡



均整の取れた美しい石器です。鋭く尖(とが)った先端から三角形状に広がる刃。中央の稜線(りょうせん)も滑らかで、作った旧石器人も出来栄えに満足したことでしょう。棒の先に装着して槍(やり)として使います。長さ7センチ。

(県立埋蔵文化財センター)

(随時掲載)